

シルバー連合会

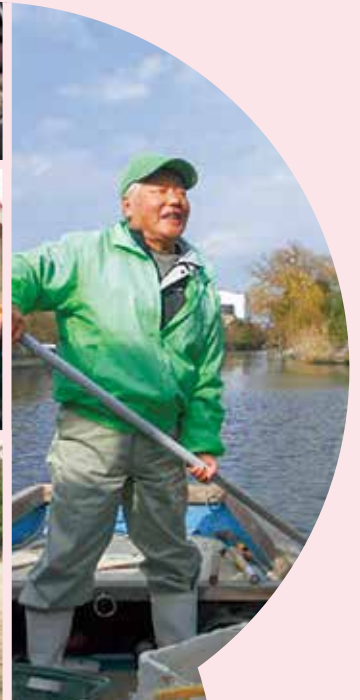
ふくおか

いつまでも
魅力は無敵大!!
（センターのイケオジたち）

FUKUOKA No.50

第50号

令和7年2月発行



目次

P1 ▶ 会長挨拶・定時総会

P2 ▶ 要請行動・医師会協定・ロックンロウゴFes2024

P3-4 ▶ 会員拡大への取り組み

P5 ▶ 安全就業について

P6 ▶ 大木町シルバー人材センター

P7 ▶ フリーランス法・子育てマイスター・会員募集



令和7年度を迎えるに当たって

寒さの中にも春の訪れを近くに感じられるようになりました。シルバー連合会におか第50号を発行するにあたり、「言ひあいさつ」を申し上げます。

シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、センター事業の発展にご尽力いただくとともに、当連合会に対しましても様々なご協力、ご支援をいただき感謝申し上げます。

さて、我が国においては、少子高齢化が進展する中で「人生100年時代」を見据え、高齢者がいきいきと地域で暮らしていただける「生涯現役社会」の実現に向けた環境の整備が行われています。シルバー人材センターも高齢者の活躍の場のひとつとして、ますますその存在を示していかなければなりません。そのためにはまず、会員拡大や安全就業の徹底など、事業の基盤となる基本的な課題に取り組むことが求められています。

また、令和6年11月1日に施行されました「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」(フリーランス法)においては、会員の皆様への就業条件の事



公益社団法人
福岡県シルバー人材センター連合会
会長 中川 伸司

前明示を行うなど、法律への対応が適切に行われるよう、環境整備も喫緊の課題です。加えて、法律が施行されたことに伴い、会員の皆様の就業環境を整える義務を発注者の皆様にも負っていただくよう、新たな契約方法への移行が厚生労働省の方針として示されています。これらの変化に対処していくためには、事務の効率化・デジタル化は避けて通れない課題だと考えています。

来る令和7年度は、センター役職員や会員の皆様に対し、必要な情報を適切な時期にご提供しながら、これらの課題にしっかりと向き合ってまいりたいと考えています。

最後になりますが、シルバー事業の更なる発展と皆様のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げます、私からのご挨拶いたします。



令和6年度事業報告

定時総会・役職員研修会

福岡県中小企業振興センターにて開催されました。公益社団法人須恵町シルバー人材センターの阿多律夫理事長に議長を務めていただき、すべての議案が無事承認されました。その後、役職員研修会を開催しました。令和5年度が過去最多の事故件数となったことを受け、A&Cたかくら株式会社 代表取締役の高倉剛様に「作業を安全に進めるための管理者としての心構え」と題して講演をお願いしました。会員の皆様の安全を守るための決意を新たにした時間となりました。

令和6年6月18日 火



阿多議長

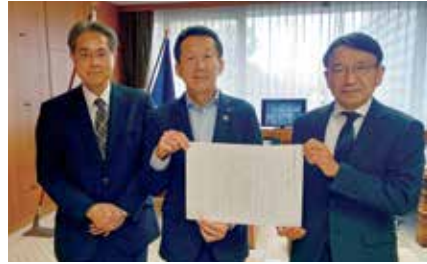


高倉講師

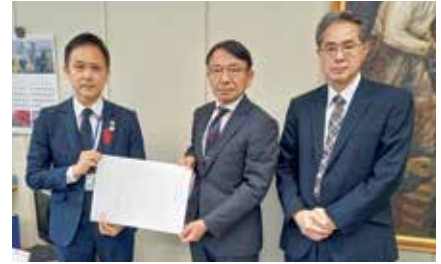
令和6年11月18日 月

福岡県に対する要請行動を実施しました

当連合会の中川会長、村地副会長が県に対する要請行動として県庁を訪問し、服部誠太郎福岡県知事と香原勝司福岡県議会議長宛に要請文をお渡ししました。県からの支援に感謝申し上げるとともに、今後の補助金や就業機会の確保、契約方法の見直しへのご理解や支援についてお願いしました。県からはそれらの要請に対し、できる限り取り組んでいきたいとの言葉をいただきました。



(左) 村地副会長 (中) 香原議長
(右) 中川会長



(左) 後潟労働局長 (中) 中川会長
(右) 村地副会長

福岡県医師会と「地域医療の確保及び高齢者の健康・生きがいのための就労等に向けた連携に関する協定」を締結しました

令和6年11月13日 水

医療現場における人手不足も深刻化しつつあるよう
で、今後も地域医療を確保するため、シルバー人材センターが就業等で支援すること、会員の皆さんが健康を維持できるよう情報提供を受けることなど、お互いが協力しあうための協定を結びました。現在も地域の病院から、清掃や受付補助、調理補助、患者送迎など様々な仕事を受けていますが、医療業界において今後ますますシルバー会員の活躍の場が広がることを願います。

また、連合会では医師会主催のセミナーの紹介などを各センター宛に行っていきます。興味をお持ちの方はぜひご参加ください。



テレビ西日本(TNC)主催『ロックン・ロウゴFes2024』に参加しました

令和6年8月8日 木

福岡市中央区天神にあるエルガーラホールで開催された、中高年齢者をターゲットとした「ロックン・ロウゴFes2024」に出展し、シルバー事業をPRしてきました。センター会員が制作した小物などを展示・販売すると同時に、シルバーに関するアンケートを実施。シルバーはどんなところか知っていますか?との問いに対し、いちばん多かった回答は「仕事を紹介してくれるところ」でした。実際に活用してくださっている方もおり、仕事を通じて地域貢献をしている団体と認識されていることを実感しました。働く仲間を増やしていきましょう。





就業に役立つ技能講習や就業体験などを実施しました

連合会では、入会する会員を増やすことや、より多くの方にシルバー人材センターを活用していただくことを大きな目的に、周知広報活動を展開し、様々な技能講習会、就業体験、説明会(セミナー)などを開催しています(高齢者活躍人材確保育成事業)。

いずれも好評で、「大変わかりやすく、目から鱗が落ちた」、「新たな視点で学びや体験をすることができ、とても勉強になった」、「シルバーのイメージが変わった」などの声が多く寄せられました。

就業体験ピックアップ

昨年度に続き須恵町シルバー人材センターで農業体験を実施しました。午前は野菜作りの基礎に加え、売れる野菜づくり、販売・販路拡大手法など、昨年よりも一歩踏み込んだ内容でした。午後からは秋野菜の播種・植付けなど野菜づくりの基礎を体感していただきました。これを機会に農園事業が益々活発になり、作り育てる楽しさを共感していただければと思っています。



シルボンヌ(女性会員)拡大についての取り組み

今年度のシルボンヌ委員会は、新たな委員7名と連合会職員2名で構成し、令和2年度に課題と対策を整理し策定した提言を基に、次のような新たな取り組みに挑戦しました。

女性職員活躍促進研修会

9月25日に、センター女性職員を対象に開催しました。大木町シルバー人材センター猿渡事務局長を講師として、「シルバーの転換期にあたって私たちが果たす役割とは?」をテーマに、シルバー職員として果たすべき役割や心構えを学びました。

また、女性会員及び職員の更なる交流や活躍促進を目指し、センター女性職員の企画運営による女性会員交流会を開催してもらうことにしました。研修会後半では、県内センターを6グループに分け、開催に向けた企画会議を行いました。

各地のシルボンヌ大会に参加しました!

11月19日

シルボンヌ
全国大会2024
in 埼玉

ダンサーSAM氏によるダンスレクチャーに加え、埼玉県内センターの事例発表、会員による「よさこい」披露など、活気ある大会でした。

11月25日

やまぐちシルボンヌ
フェスティバル
(地方大会)

安藤和津氏のユーモア溢れる講演や「シルボンヌとして働く喜び」をテーマにパネルディスカッションなどが繰り広げられ、学びの多い大会でした。

各グループの女性会員交流会

今回はテーマ決めから実施に至るまで、センター職員のアイデアによって開催されました。他のセンターとの交流は、会員同士の刺激になるだけでなく、職員同士の絆にも繋がるなど相乗効果をもたらし、より一層シルボンヌ拡大の取り組みに拍車がかかりそうです。



1班
大野城市
開催

大野城市 久留米市 福岡市 春日市
志免町 糸島市 須恵町

「なんちゃって梅ヶ枝餅作り」と題し、班ごとに種類の異なるオリジナルの餅作りをし、他の班と餅交換しながら楽しく交流、意見交換 など



2班
朝倉市
開催

朝倉市 筑紫野市 太宰府市 小郡大刀洗広域
筑前町 嘉麻・桂川広域 うきは市

朝倉市シルバー人材センターで継承している「甘木絞」が県知事指定特産工芸品に指定されたことを受け、「甘木絞」体験を通じた交流、意見交換 など



3班
北九州市
開催

北九州市 築上町 苅田町 豊前・上毛
行橋市 みやこ町 田川地区

北九州市シルバー人材センター西部出張所が商業施設に移転し、小物販売の売上げが増えたことから、会員や職員による事例発表、店の視察、意見交換 など



4班
宗像市
開催

宗像市 福津市 宮若・小竹 中間市
岡垣町 直方市 遠賀町

様々な就業の事例発表をするとともに、会員講師による苔玉作り体験、各センターのお手製ドライフルーツやハーブティなど試食しながら交流、意見交換 など



5班
飯塚市
開催

飯塚市 那珂川市 粕屋町 篠栗町
久山町 古賀市 新宮町

飯塚市シルバー人材センター運営の「休憩処とまり木」で、閉店した名店から味の継承を受けた永楽ぜんざいの試食、地域に根付いた取組みの紹介、意見交換 など



6班
みやま市
開催

みやま市 筑後市 大川市 大牟田市
大木町 八女広域 柳川市

職員それぞれが試行錯誤して出来たオリジナルレシピでどら焼き作り。手軽で楽しい調理を通じた交流と試食、意見交換 など

参加した女性会員の声

- 他センター会員さんの生き生きとした活躍を見たり聞いたりして、今後の自分たちの活動の刺激になった。
- 今後も物作りしながら話しをしたり、意見・情報交換したりしたい。
- 女性会員の活躍されている様子を聞いて、自分にも何かできないかと考える機会になった。

企画運営に携わった職員の声

- 他センター職員の素敵な一面が発見でき、私たち自身の刺激になった。
- 業務多忙な中、地域や担当を超えた職員同士の交流ができ、連帯感が生まれた。考え方や伝え方等の勉強にもなった。
- 他センター会員の就業内容や女性の会などの活動、悩み、心がけていること、働く喜びなど生の声が聞けてよかった。

今年度の事故状況

今年度12月までの傷害事故は124件、賠償事故は116件で、事故合計は240件となり、昨年と比較すると104件の減少でした。一見大きく減っているように思えますが、令和4年度以前の事故件数と比べるとほぼ変わりはなく、依然として事故は高水準で推移しています。特に賠償事故の石飛については、歯止めがかからない状況です。

事故発生の原因には慣れによる手抜きや確認不足があるようです。安全に関する基準を守り、会員同士が声を掛け合うことで防げる事故があります。今一度基本に立ち返り、丁寧な安全対策を心がけることで、いつまでも元気で就業できる環境を職員、会員ともに整えていきましょう。

安全就業促進大会

7月31日(水)13時から福岡市東市民センター(なみきホール)で開催され、339名の方が参加されました。

安全優良センターと安全標語の表彰を行った後、春日市シルバー人材センター 安全・適正就業対策委員会委員長である井上悦夫様に「重大事故再発防止のための取り組み」と題して事例発表をしていただきました。また、安全講話「予測運転の徹底」をJAF福岡支部セーフティアドバイザーの田中至道様に、記念講演「知っておくと役に立つ、元気に働き続ける3つの心がけ」を産業医科大学 産業生態科学研究所 人間工学研究室助教 谷直道様にそれぞれお話しいただきました。どのお話しも今後の安全対策に非常に参考になるもので、有意義な時間となりました。最後に宮若・小竹シルバー人材センター安全・適正就業対策部会委員長 吉崎年一様の安全就業宣言によって安全就業促進への決意を新たにし、無事終了しました。



安全表彰



事例発表 井上悦夫様



安全講話 田中至道様



記念講演 谷直道様



安全就業宣言 吉崎年一様

安全表彰センター

- 飯塚市シルバー人材センター
- 宮若・小竹シルバー人材センター
- 直方市シルバー人材センター
- 大木町シルバー人材センター
- みやこ町シルバー人材センター

安全の創意工夫に無駄はなし
 (公社)志免町SC 武田 豊様

作業前みんなで確認 危険予知
 (公社)刈田町SC 井上 明雄様

これ位何とかなるが事故まねく
 (公社)築上町SC 山本 吉次様



佳作

忘れるなヒヤリハットのあの教訓
 (公社)大牟田市SC 安永 博文様

今一度いつも心に危険予知
 (公社)小郡大冨洗広域SC 中村 遼子様



優秀賞

安全は一人の目よりみんなの目
声かけはげまし 事故防止
 (公社)遠賀町SC 三原 将輝様

これ位心の緩みが事故を生む
 (公社)みやこ町SC 吉野 正治様



最優秀賞

慣れた作業に気を抜くな
「だろっ・よかろう」事故のもと!
 (公社)朝倉市SC 末益 秀行様

安全標語・入賞者と作品

…ありがとう…

大木町シルバー人材センターのみなさん

輝く思い出とともに
さあ！次のステージへ

大木町シルバー人材センターが今年3月をもって解散します。シルバー事業は新しい形となって大木町社会福祉協議会に引き継がれます。センターの選択が、新しい歴史となって輝くよう願っています。

突撃
インタビュー!!

猿渡知子事務局長



平成17年の設立時より、長きに渡りセンターを支え、牽引してきたのが猿渡事務局長です。明るく元気で前向きな方で、県内のみならず全国シルバー内でもその存在感を放ち、様々な取組みに貢献してこられました。これからも猿渡事務局長のポジティブな考え方や行動力を受け継いでいけるようその魅力に迫ってみました!

Q. 大木町シルバー人材センターでの思い出は？

会員さんと町の様々な事業に参加したこと。事業立上げ時から関わって、会員さんの活躍が嬉しかったし、私が一番楽しかったです。

Q. いつもポジティブですが、心掛けていることは？

ちゃんと弱音を吐くこと!悩みや辛いことを抱え込まなくてよいでしょ?!(笑)あと、大変な時には、どうしたら面白くなるか考えて乗り切るようにしています。

Q. 会員さんや職員へのメッセージをお願いします!

社協では、多世代交流ができるので、新しいことに挑戦して欲しいし、楽しんで欲しい!更なる成長を楽しみにしています。

思い出のアルバム 20年のあゆみ

～いつまでも誇れるように～



平成20年

「チャレンジ模擬議会」に参加



平成22年

女性の集いでメイクアップ講習



平成28年

大木みのりの学校(いちご定植)



平成28年

知事訪問でリメイク傘袋をPR



平成29年

夏休み子どもの居場所づくり事業



平成30年

アスパラガスハウスで堆肥入れ



令和3年

きのご掻き出し作業



令和4年

開眼片足立ち測定



令和4年

おおき循環センター



令和5年

みのりちゃんカフェ「みそ作り教室」



令和6年

最年長の理事長も大活躍!

リレーマラソンに参加

大木町SCの名物カメラマン 森山 峰熙 さん

これまで大木町の会員さんの写真を撮り続けて来られました。数々のベストショットに彩られた「すずなり」の写真は森山さんによるものです。



愛され続けてきたイメージキャラクター 『みのりちゃん』

誕生日 平成27年4月15日
名前の由来 たくさんの笑顔がみのるように
性別 ヒ・ミ・ツ♡



フリーランス法(特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律)が施行されました

令和6年11月1日 金

会員の皆様センターにおいて派遣以外で仕事をされる際は、それぞれが個人事業主(いわゆるフリーランス)の立場でセンターからの仕事を請負っていただいています。この法律では、会員の皆様がよりよい環境で就業ができるよう、発注者やセンターが果たすべき義務が示されました。そのひとつが就業条件の明示です。センターは仕事の内容、報酬の額、支払期日などについて、

就業前に会員の皆様へ示す必要があります。会員マイページへの掲載や紙面での配布が必要です。詳しくは所属するセンターへお問い合わせください。

また、発注者の皆様にも法律の義務を果たしていただくために、今後契約方法の見直しが行われます(厚生労働省方針)。事務手続き等変更が生じますが、ご理解・ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

ふくおか
子育て
マイスター

あなたの「これまで」と「これから」を 子育てマイスターとして活かしてみませんか?

ふくおか子育てマイスターとは、60歳以上の子育て支援に関心のある方が、認定研修会を受講・認定されることで地域の子育てを応援する福岡県独自の制度です。

ふくおか子育てマイスターの活動は、お孫さんのお世話から、保育現場の補助や地域でのボランティア活動など様々です。自分のできる時に、できる範囲で活動できます。特別な資格は必要ありません。

豊富な経験と磨いてきた人間力であなたも「ふくおか子育てマイスター」となって地域の子育てを一緒に応援しませんか?

■お問合せ

ご応募お待ちしております!

福岡県シルバー人材センター連合会
ふくおか子育てマイスター事務局

TEL 092-292-1851 (直通)

ホームページ <https://fukuoka-kosodate.com/>



Webサイト



働く仲間大募集

60歳からの
いきいきチャレンジ!

さあ
始めよう!

- 生きがいを見つけるチャレンジ
- 毎日が笑顔になれるチャレンジ
- 仲間づくりにチャレンジ

- 福岡県内在住
- 60歳以上
- 働く意欲のある方

シニア世代は地域と時代を支える貴重な戦力です。ぜひ、あなたの豊かな知識と経験という力をお貸しください。シルバー人材センターでは、セカンドライフを豊かにする健康で無理なく働ける環境をお手伝いします。

お問い合わせはお住いの地域の
シルバー人材センターまで

公益社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号 福岡県中小企業振興センタービル8F

TEL 092-623-5656 FAX 092-623-5677 [ホームページ http://www.fscc.or.jp](http://www.fscc.or.jp)



Webサイト